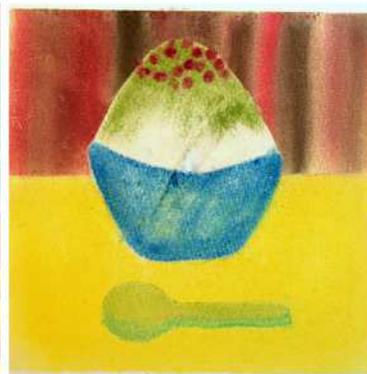
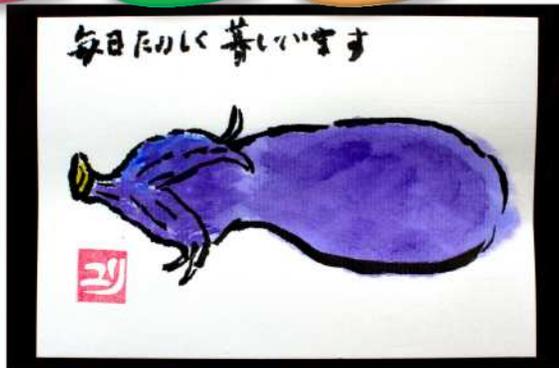
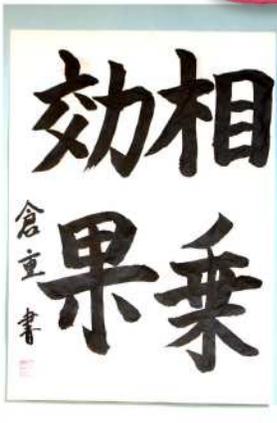




わくわく ゆったり 楽しく

ももたろう
活動報告



※ 写真の転載はご遠慮ください。

◆ 主な活動と空き状況

【第1】		【第2】	
月	× 歌唱指導	月	○ アート制作
火	○ 手芸 (押絵)	火	× 手芸 (押絵)
水	× 歌 手品 ゲーム	水	× 手芸 (押絵)
木	○ 習字	木	× 習字
金	× 生演奏での歌	金	× アウトドア
土	× レクリエーション	土	○ レクリエーション

※ ○は空きがあります。満員であっても、ご見学・ご予約をお願いします。

近年よく新しいデイサービスができています。中には若いスタッフばかりで運営されている若い施設もあります。デイサービスももたろうのスタッフは、女性を中心に人生経験豊かなスタッフが多数勤務。半数が親の介護を経験し、そのうちの4割が親を看取った経験があり、特養や有料老人ホームに親を預ける者も4割に上ります。今後もお客様・ご家族双方に寄り添えるサービスを目指します。



東京都府中市矢崎町 2-3-5

TEL 042-366-5248

FAX 042-366-5239

WEB <http://mtaro.jp>

事業者番号 : 1373801685

『31歳、リウマチ発症。』

72歳のその女性は、笑顔がよく似合う

ケアプラン
デイサービス
訪問サービス

息子を出産した時に大量出血があり輸血した。それが原因かは分からないが、しばらくして全身に激痛が走り、強い鎮痛剤を連日注射した。35歳の時に病院の検査でリウマチと診断され、40代で手の動きが悪くなり「始まったな」と感じた。それでも日常生活や趣味の手芸に大きな影響はなく、夫が定年を迎えると年4回の夫婦旅行も趣味に加わった。

65歳の時、医師に相談しリウマチの新薬を服薬するようになった。この薬、元はガンの薬であり検査の数値は良くなるものの骨がやられ、変形しやすい副作用を持っていた。

今、座っていれば「どこが悪いの?」と言われるが、手の指は大きく変形している。身体の中も例外ではない。MRIで骨格の画像を見る機会があったが、夫と愕然としてしまい声が出なかった。時々鬱にもなる。気を晴らしたいが、一人では自由に動けなくなったため、散歩も自由には行けない。目も見えにくくなったため、本やテレビも見えない。

かれこれ1年半になるが、「病院に行くより、楽しい所に行こう」と“ももたろう”に通うようになり、押絵を始めた。私の手でハサミを握り、メウチで小さな布を扱うのは本当に大変だが、完成した喜びは何倍も大きくなる。毎月できる私の作品を毎回褒めてくれる友人がいる。彼女は「個展をやればいい」と勧めてくれる。



▲ご本人の作品

今はそれが私の夢。夢で終わったっていい。

リウマチで苦しんでいる人々に、何か少しでも役に立ちたい。頑張れば出来るんだということを伝えたい。“押絵はこれで止めよう”と思うこともあるが、“今やれる事をやろう”と、頑張っている。それに、押絵をしている時だけが、無心になれて病気の事を忘れられる。時々『すごく明るいわね』と周囲から評されることもあるが、裏では強い葛藤がある。ほとんど全ての家事をしてくれる優しい夫、私以上に私の心配してくれる息子、それに“ももたろう”で良くしてもらっているからこそ今の自分がある。ここを辞めたら、私はきっとおかしくなる。

今では新しいリウマチの薬がいくつも出てきている。だが、今もあの薬を飲み続けている。「もう年だから、リウマチの人の役に立とう。被験者として人のために生きるんだ」と自分を奮い立たせている。これが私の運命。これからも、頑張っている生きていきます。

「楽しいことを続けているからか、とても痛いはずのリウマチが全く痛くないのよ。それにボタンの付け外しが、いつの間にかできるようになったの。」と嬉しそうに話してくれました。検査の結果も良好で、50数個の検査項目も全て正常値だそう。「こうやって喋ることで、自分に言い聞かせているんだけど」と、噛みしめるように仰られたのが印象的でした。

ホームページで過去の活動報告がご覧いただけるようになりました!